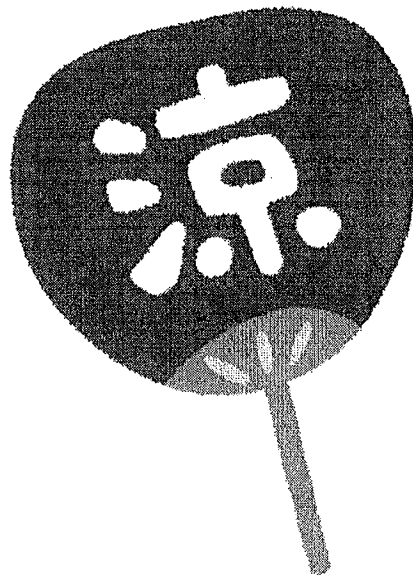




なかしん

# 景況レポート



2022年 夏  
中兵庫信用金庫

No.150

経営企画部



# 第 150 回 なかしん中小企業景気動向調査

## (2022 年 6 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、2022 年 6 月を調査時点とする 2022 年度第 1 四半期(2022 年 4 月～6 月)実績(6 月は予想)、及び 2022 年度第 2 四半期(2022 年 7 月～9 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調査時点	2022 年 6 月
調査対象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調査方法	聞き取り法
依頼先数	430 先
有効回答数	426 先 (回答率 99.0%)
その他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index、略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変わらず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業種別構成

業種	依頼数	回答数
製造業	108	107
卸売業	37	37
小売業	106	105
サービス業	69	69
建設業	77	77
不動産業	33	31
合計	430	426

[調査地域]

丹波市・丹波篠山市・三田市  
西脇市・多可郡・加東市  
三木市・小野市  
神戸市・西宮市北部  
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

# 景気の状態について

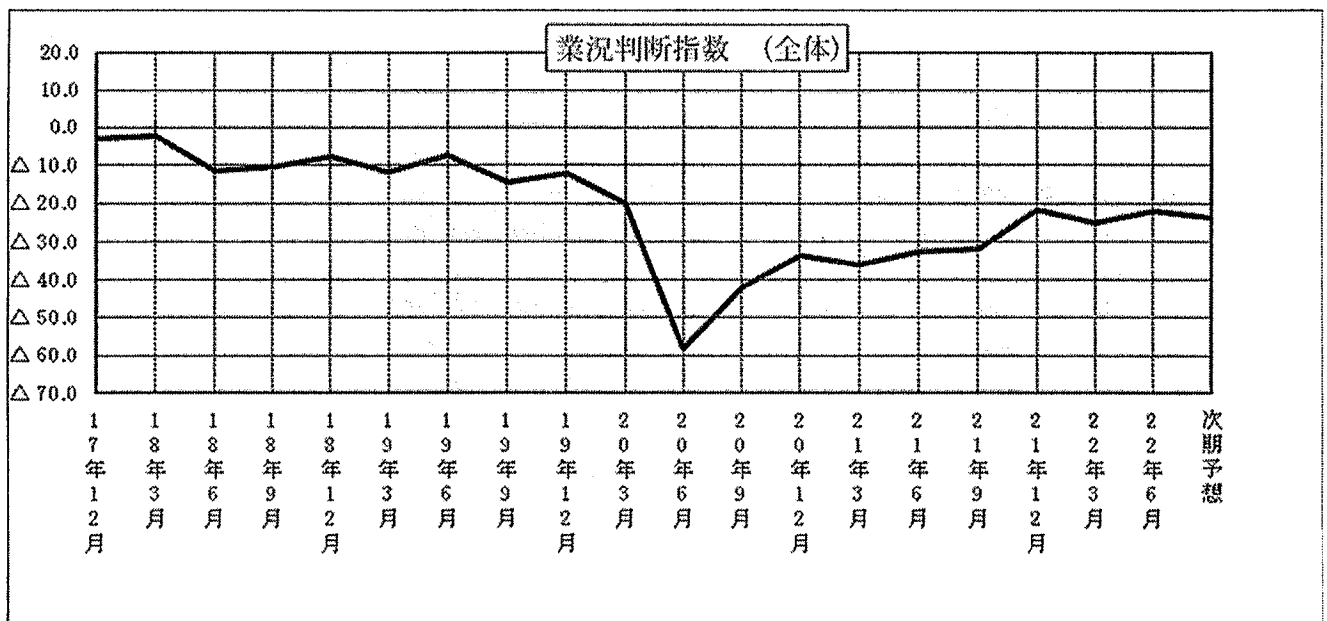
## 1. 総合的景況判断

### 業況の推移

調査時点	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)
2021年	4～6月	8.1	51.3	40.6	△ 32.5
2021年	7～9月	5.7	56.8	37.5	△ 31.8
2021年	10～12月	11.1	56.0	32.9	△ 21.8
2022年	1～3月	9.4	56.2	34.4	△ 25.0
2022年	4～6月	11.1	55.8	33.1	△ 22.0
見通し	7～9月	7.8	60.8	31.4	△ 23.6

### 業種別業況(2022年4月～6月)

業種	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)	次回予想	
						前回調査比	今回調査比
製造業		16.8	48.6	34.6	△ 17.8	△ 4.7	△ 22.4
非製造業		9.2	58.2	32.6	△ 23.4	5.6	△ 23.9
(卸売業)		8.1	64.9	27.0	△ 18.9	13.5	△ 17.1
(小売業)		8.7	54.8	36.5	△ 27.8	12.6	△ 30.8
(サービス業)		8.7	58.0	33.3	△ 24.6	12.2	△ 33.3
(建設業)		8.0	65.3	26.7	△ 18.7	△ 4.4	△ 9.3
(不動産業)		16.1	45.2	38.7	△ 22.6	△ 16.1	△ 22.6
全体		11.1	55.8	33.1	△ 22.0	3.0	△ 23.6



## ○今 期

今期（2022年4月～6月期）の景況をみると、業況D Iは前回調査比で3.0ポイント増加の $\Delta 22.0$ と改善した。

業種別でみると、卸売業で13.5ポイント、小売業で12.6ポイント、サービス業で12.2ポイント増加し、製造業で4.7ポイント、建設業で4.4ポイント、不動産業で16.1ポイント減少した。

## ○次期予想

次期予想について、業況D Iは今回調査比で1.6ポイント減少の $\Delta 23.6$ と悪化する見通しである。

業種別でみると、卸売業で1.8ポイント、建設業で9.4ポイント増加し、不動産業は変わらず、製造業で4.6ポイント、小売業で3.0ポイント、サービス業で8.7ポイント減少する見通しである。

## 業種別業況判断

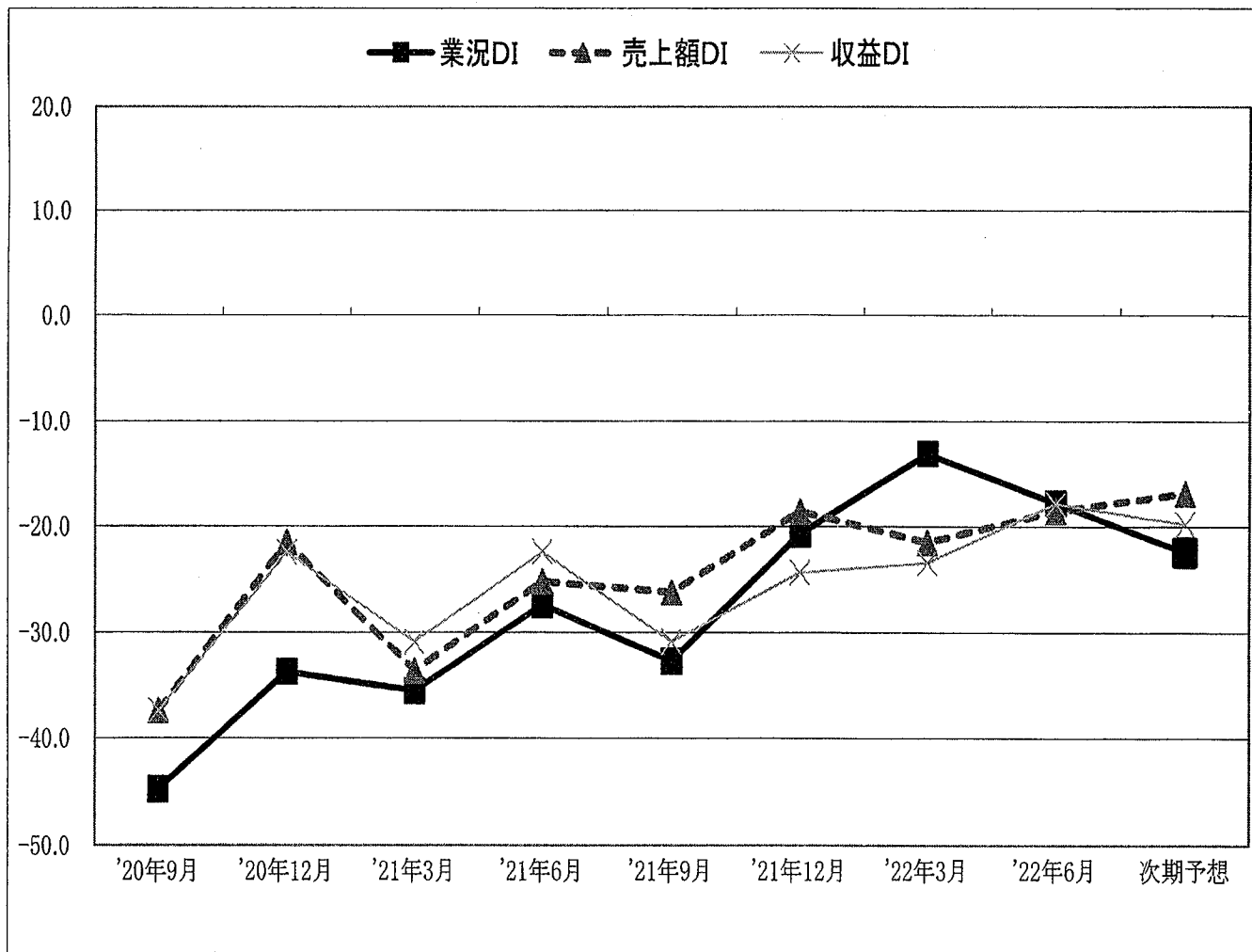
### ① 製造業

業況DIは前回調査より4.7ポイント減少の△17.8と悪化し、売上額DIは2.9ポイント増加の△18.6、収益DIは5.5ポイント増加の△17.9と改善した。

次期予想では、業況DIは4.6ポイント減少の△22.4と悪化し、売上額DIは1.7ポイント増加の△16.9と改善し、収益DIは1.9ポイント減少の△19.8と悪化する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	'22年6月	前回調査比	次期予想	今回調査比
	業況DI	△44.8	△33.7	△35.5	△27.4	△32.7	△20.7	△13.1			
売上額DI	△37.4	△21.5	△33.6	△25.2	△26.2	△18.6	△21.5	△18.6	2.9	△16.9	1.7
収益DI	△37.4	△22.4	△30.9	△22.4	△30.9	△24.3	△23.4	△17.9	5.5	△19.8	△1.9



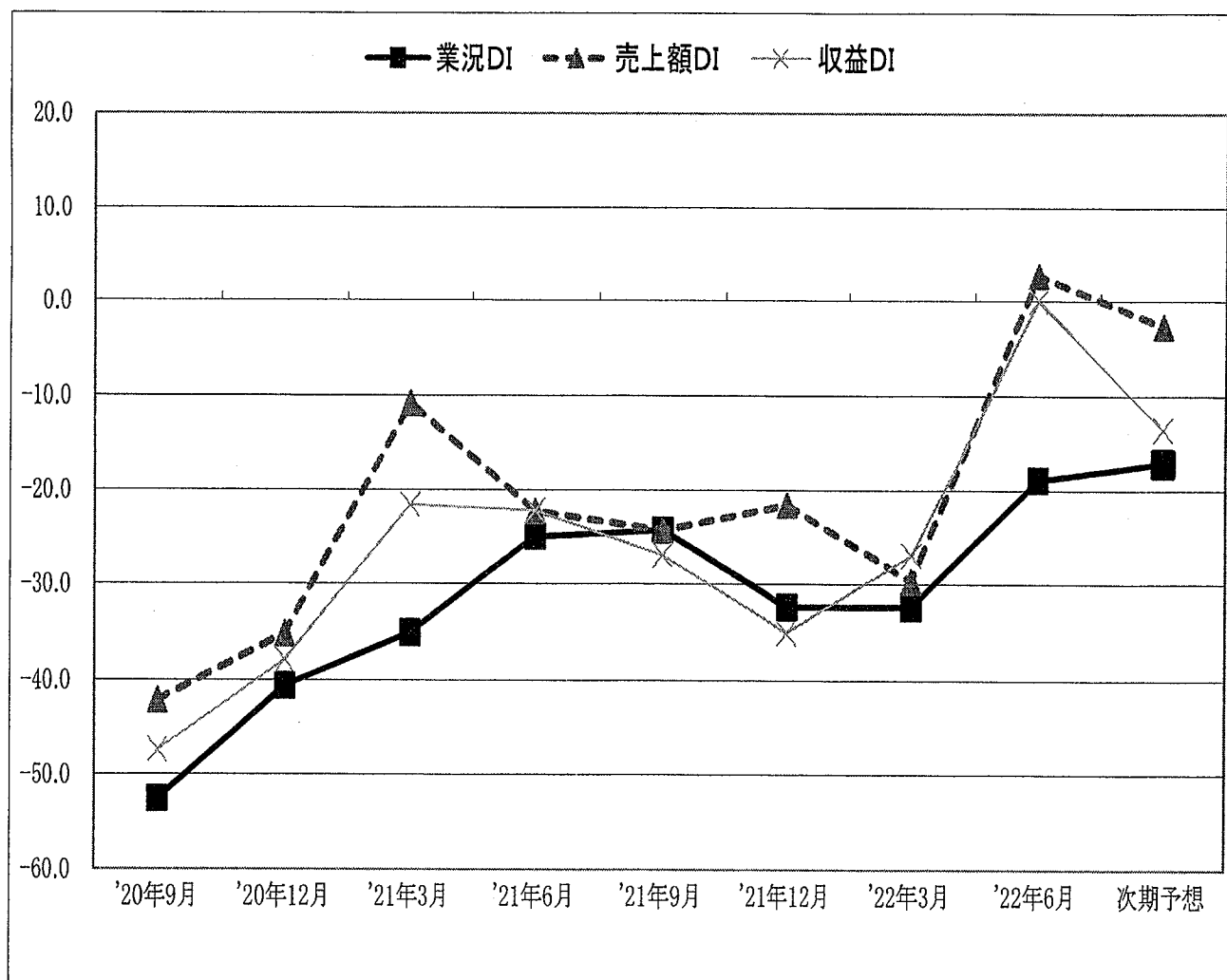
## ② 卸売業

業況DIは前回調査より13.5 ㊦増加の△18.9、売上額DIは32.4 ㊦増加の2.7、収益DIは27.0 ㊦増加の0.0と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況DIは1.8 ㊦増加の△17.1と改善し、売上額DIは5.4 ㊦減少の△2.7、収益DIは13.5 ㊦減少の△13.5と悪化する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	'22年6月	前回調査比	次期予想	今回調査比
	業況DI	△ 52.6	△ 40.6	△ 35.1	△ 25.0	△ 24.3	△ 32.4	△ 32.4	△ 18.9	13.5	△ 17.1
売上額DI	△ 42.1	△ 35.2	△ 10.8	△ 22.3	△ 24.3	△ 21.6	△ 29.7	2.7	32.4	△ 2.7	△ 5.4
収益DI	△ 47.4	△ 37.9	△ 21.6	△ 22.2	△ 27.0	△ 35.1	△ 27.0	0.0	27.0	△ 13.5	△ 13.5



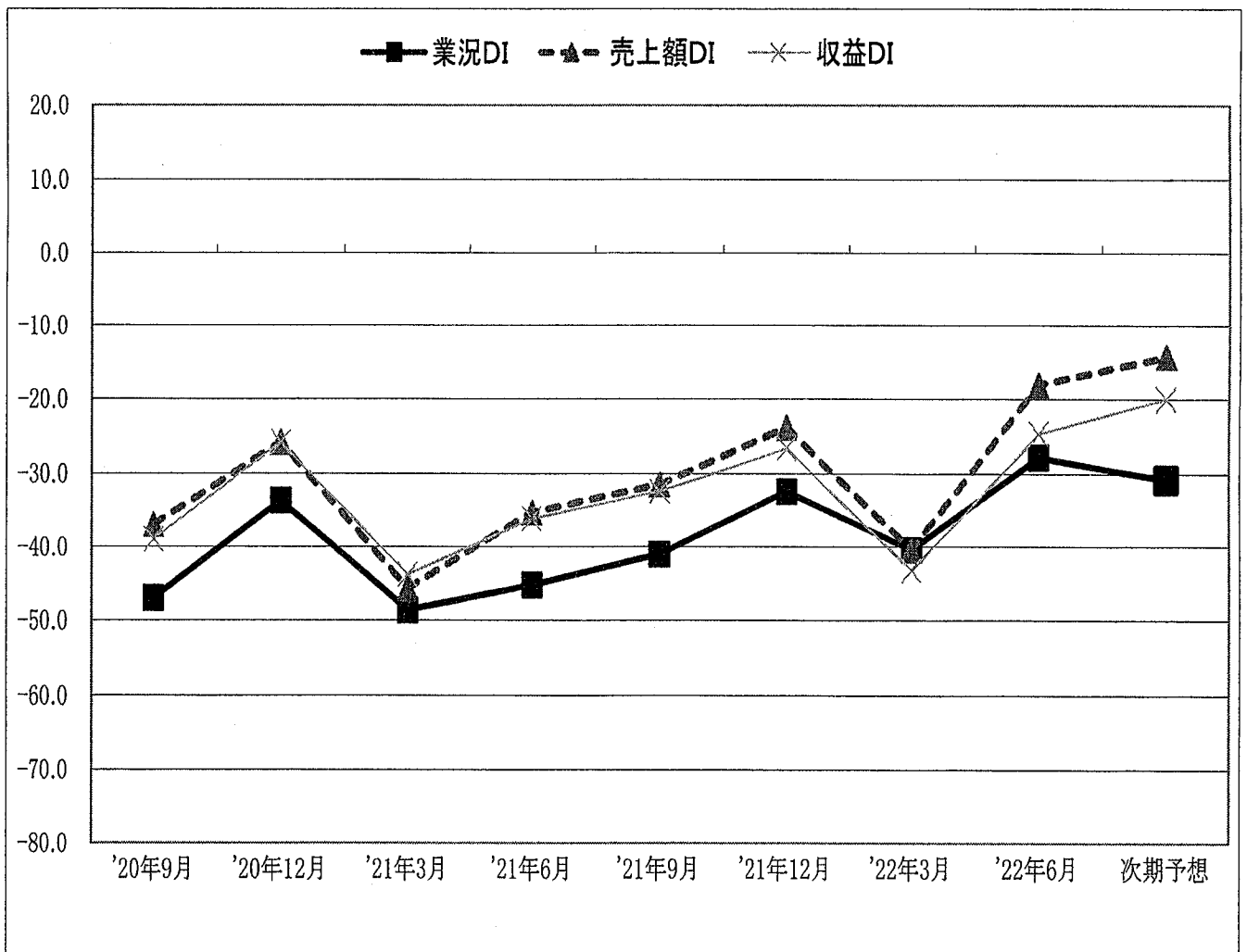
### ③ 小売業

業況DIは前回調査より12.6ポイント増加の△27.8、売上額DIは22.3ポイント増加の△18.1、収益DIは18.5ポイント増加の△24.7と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況DIは3.0ポイント減少の△30.8と悪化し、売上額DIは3.8ポイント増加の△14.3、収益DIは4.7ポイント増加の△20.0と改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	'22年6月	前回調査比	次期予想	今回調査比
	業況DI	△ 47.0	△ 33.7	△ 48.6	△ 45.2	△ 41.0	△ 32.4	△ 40.4			
売上額DI	△ 37.0	△ 25.8	△ 45.7	△ 35.3	△ 31.5	△ 23.8	△ 40.4	△ 18.1	22.3	△ 14.3	3.8
収益DI	△ 39.0	△ 25.8	△ 43.8	△ 36.2	△ 32.4	△ 26.6	△ 43.2	△ 24.7	18.5	△ 20.0	4.7





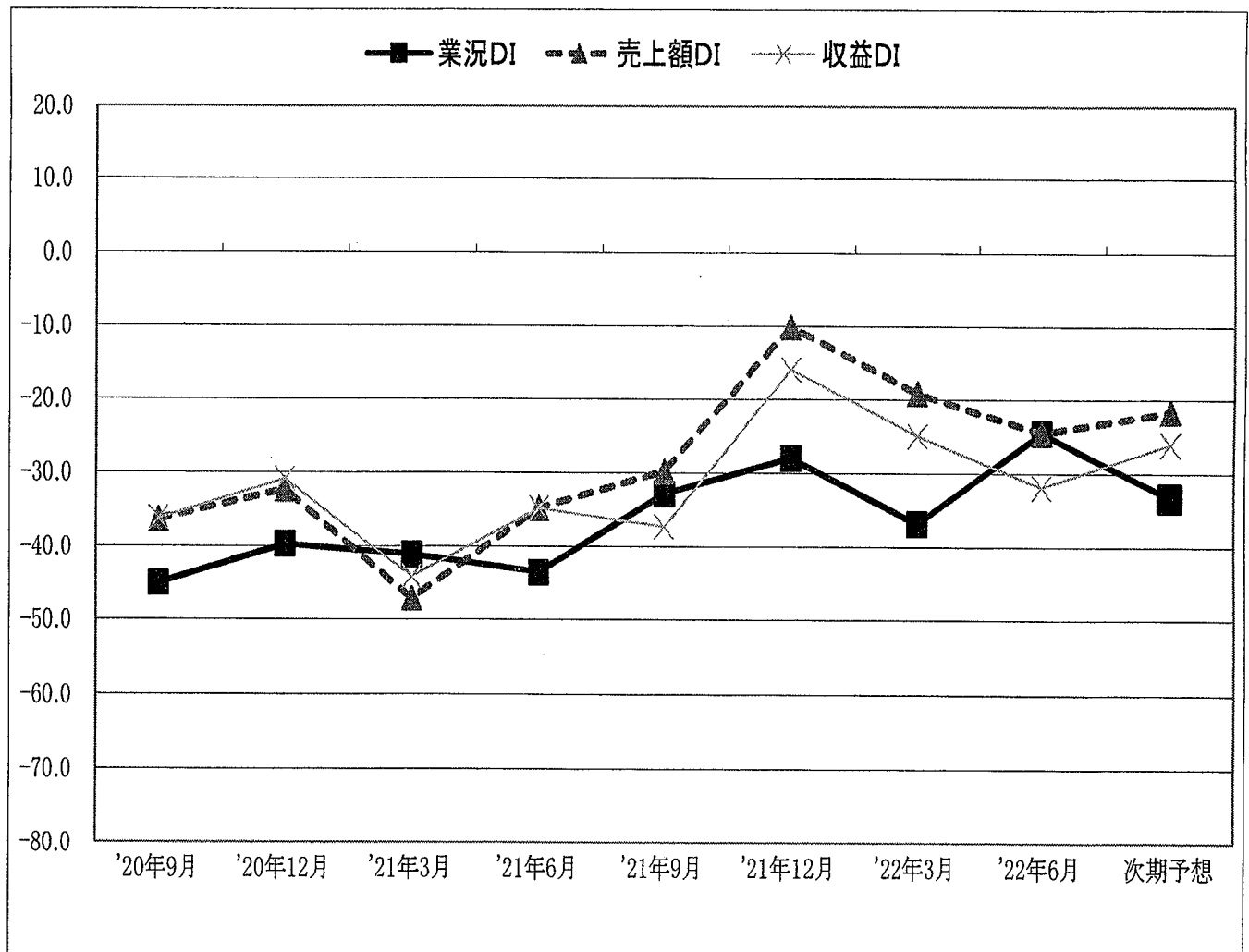
#### ④ サービス業

業況DIは前回調査より12.2%増加の△24.6と改善し、売上額DIは5.4%減少の△24.6、収益DIは6.9%減少の△31.9と悪化した。

次期予想では、業況DIは8.7%減少の△33.3と悪化し、売上額DIは2.9%増加の△21.7、収益DIは5.8%増加の△26.1と改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	'22年6月	前回調査比	次期予想	今回調査比
	業況DI	△45.0	△39.7	△41.1	△43.5	△32.8	△28.0	△36.8	△24.6	12.2	△33.3
売上額DI	△36.3	△32.3	△47.1	△34.8	△29.8	△10.1	△19.2	△24.6	△5.4	△21.7	2.9
収益DI	△36.2	△30.9	△44.1	△34.8	△37.3	△16.0	△25.0	△31.9	△6.9	△26.1	5.8



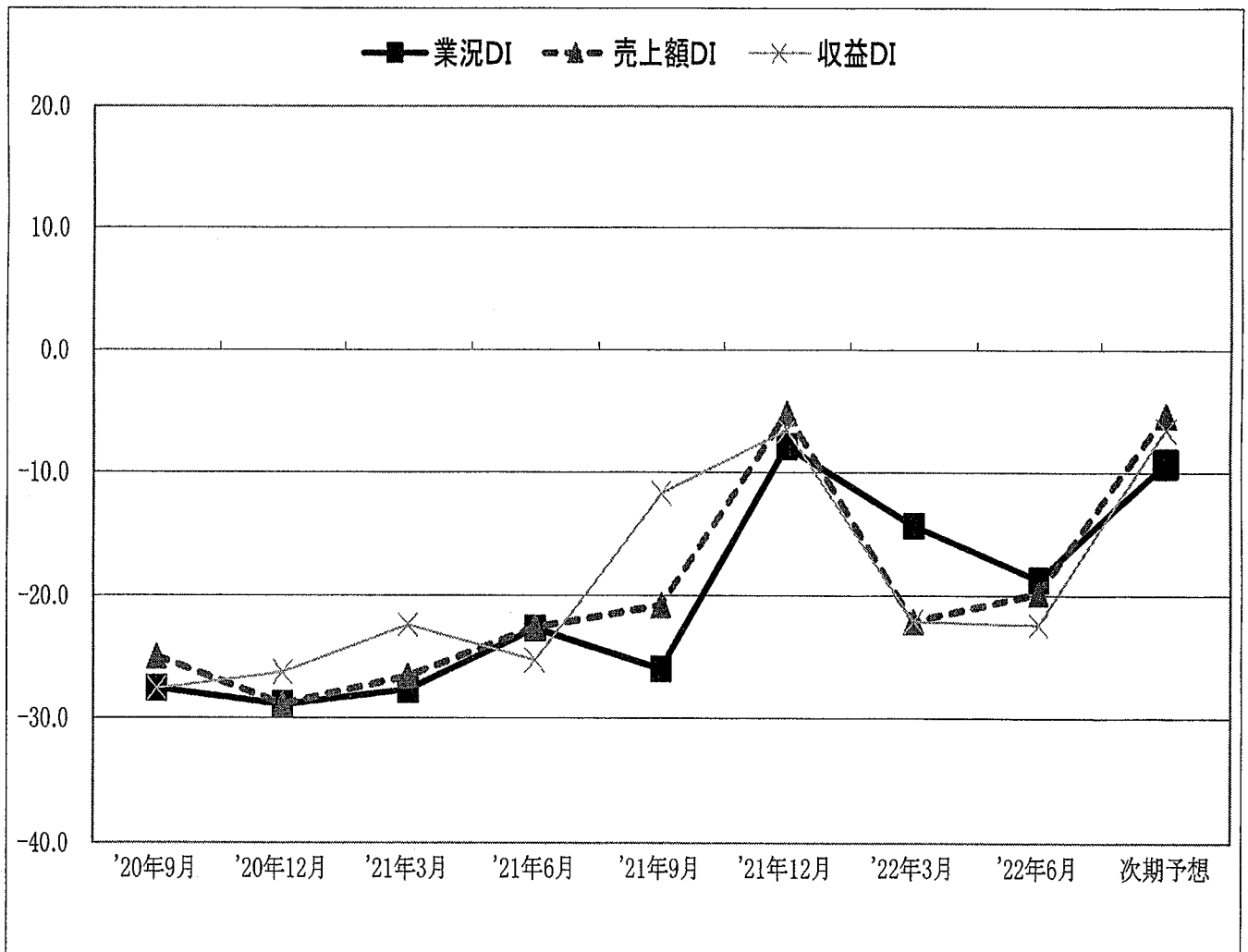
⑤ 建設業

業況DIは前回調査より4.4ポイント減少の△18.7と悪化し、売上額DIは2.3ポイント増加の△19.8と改善し、収益DIは0.3ポイント減少の△22.4と悪化した。

次期予想では、業況DIは9.4ポイント増加の△9.3、売上額DIは14.4ポイント増加の△5.4、収益DIは15.8ポイント増加の△6.6と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	'22年6月	前回調査比	次期予想	今回調査比
										△9.3	
業況DI	△27.6	△28.9	△27.7	△22.7	△26.0	△7.9	△14.3	△18.7	△4.4	△9.3	9.4
売上額DI	△25.0	△28.9	△26.6	△22.6	△20.8	△5.2	△22.1	△19.8	2.3	△5.4	14.4
収益DI	△27.6	△26.3	△22.4	△25.3	△11.7	△6.6	△22.1	△22.4	△0.3	△6.6	15.8



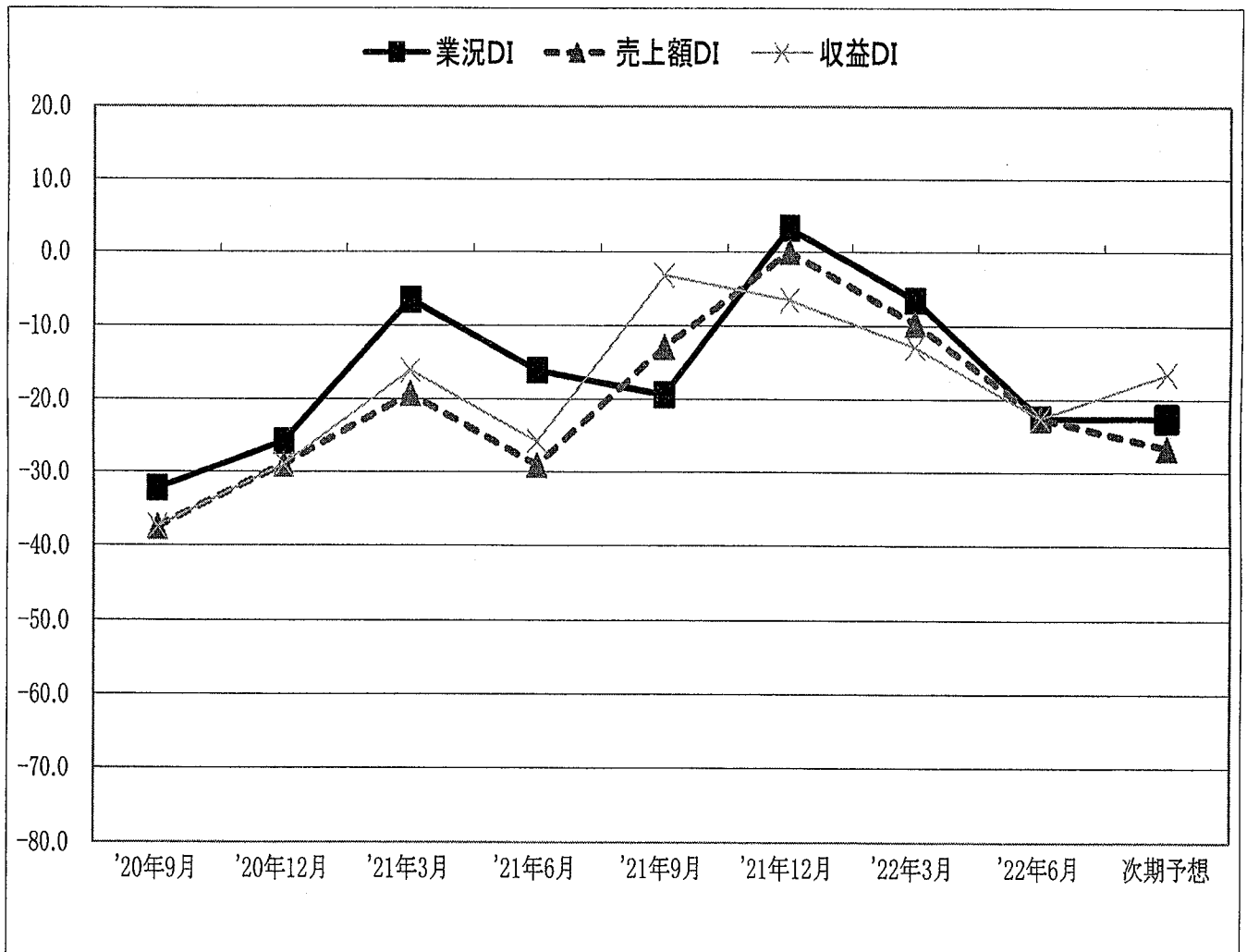
⑥ 不動産業

業況DIは前回調査より16.1ポイント減少の△22.6、売上額DIは12.9ポイント減少の△22.6、収益DIは9.7ポイント減少の△22.6と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは変わらずの△22.6、売上額DIは4.1ポイント減少の△26.7と悪化し、収益DIは6.0ポイント増加の△16.6と改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'20年9月	'20年12月	'21年3月	'21年6月	'21年9月	'21年12月	'22年3月	'22年6月	次期予想		
										前回調査比	今回調査比
業況DI	△ 32.3	△ 25.8	△ 6.5	△ 16.1	△ 19.4	3.3	△ 6.5	△ 22.6	△ 16.1	△ 22.6	0.0
売上額DI	△ 37.5	△ 29.0	△ 19.3	△ 29.1	△ 12.9	0.0	△ 9.7	△ 22.6	△ 12.9	△ 26.7	△ 4.1
収益DI	△ 37.5	△ 29.0	△ 16.1	△ 25.8	△ 3.2	△ 6.5	△ 12.9	△ 22.6	△ 9.7	△ 16.6	6.0



## 2. 売上状況

売上状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が4.0ポイント増加し、「減少した」とする企業が3.7ポイント減少したことから、D Iは7.7ポイント増加の△18.1と改善した。

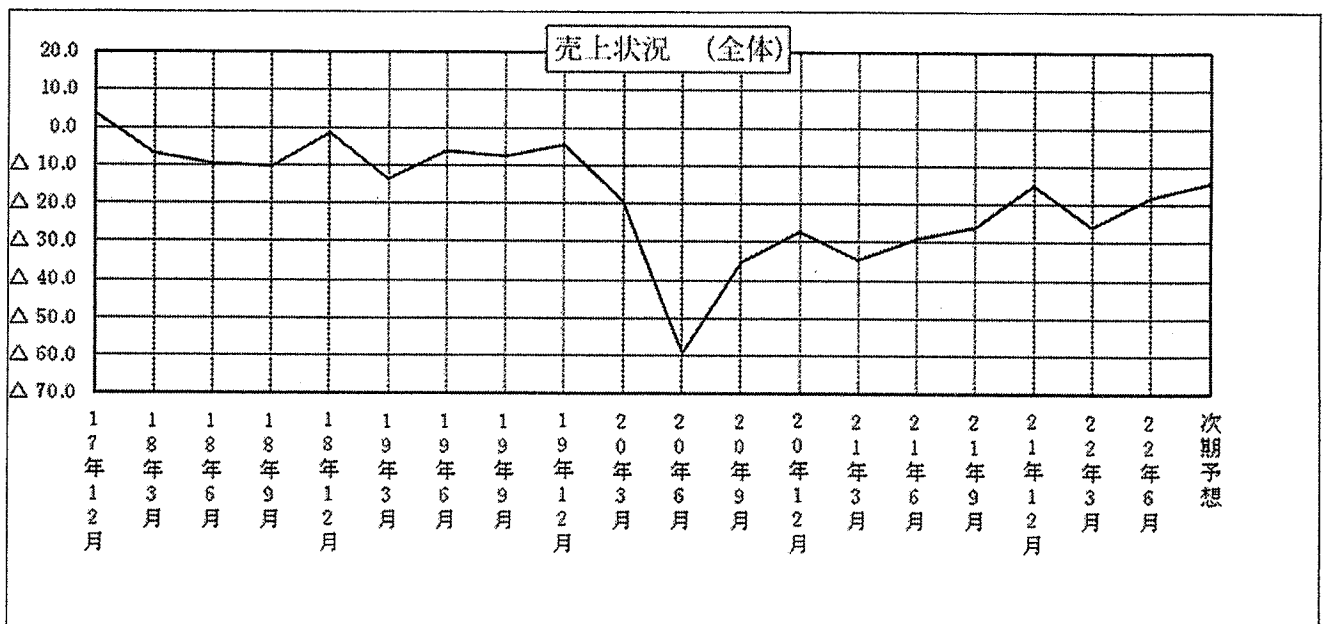
次回予想D Iは3.6ポイント増加の△14.5と改善する見通しである。

### 売上状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2021年	4～6月	8.5	54.1	37.4	△ 28.9
2021年	7～9月	8.5	57.1	34.4	△ 25.9
2021年	10～12月	15.8	53.4	30.8	△ 15.0
2022年	1～3月	10.8	52.6	36.6	△ 25.8
2022年	4～6月	14.8	52.3	32.9	△ 18.1
	前回調査比	4.0	△ 0.3	△ 3.7	7.7
見通し	7～9月	10.9	63.7	25.4	△ 14.5
	今回調査比	△ 3.9	11.4	△ 7.5	3.6

### 業種別売上状況(2022年4月～6月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		17.8	45.8	36.4	△ 18.6	△ 21.5	△ 16.9
卸売業		21.6	59.5	18.9	2.7	△ 29.7	△ 2.7
小売業		15.2	51.5	33.3	△ 18.1	△ 40.4	△ 14.3
サービス業		8.7	58.0	33.3	△ 24.6	△ 19.2	△ 21.7
建設業		11.8	56.6	31.6	△ 19.8	△ 22.1	△ 5.4
不動産業		16.1	45.2	38.7	△ 22.6	△ 9.7	△ 26.7
全体		14.8	52.3	32.9	△ 18.1	△ 25.8	△ 14.5



### 3. 収益状況

収益状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が 2.1 ㊦増加し、「減少した」とする企業は 4.2 ㊦減少したことから、D I は 6.3 ㊦増加の△21.5 と改善した。

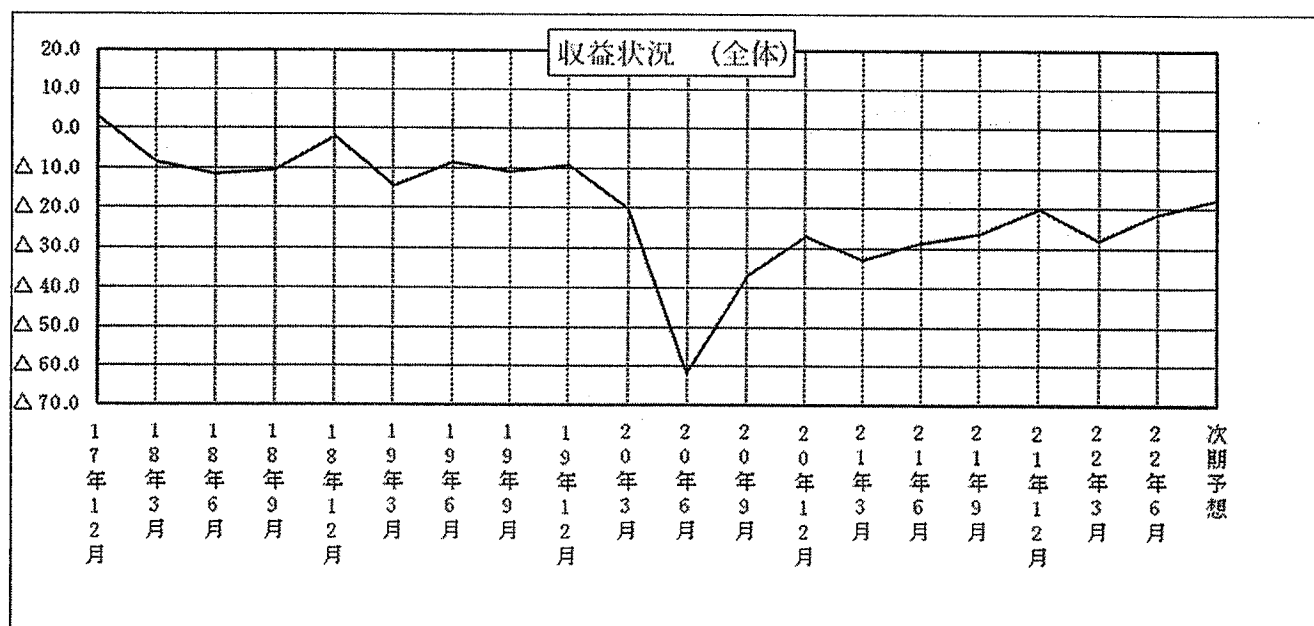
次回予想 D I は 3.7 ㊦増加の△17.8 と改善する見通しである。

#### 収益状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2021年	4~6月	7.8	55.8	36.4	△ 28.6
2021年	7~9月	8.5	56.6	34.9	△ 26.4
2021年	10~12月	11.8	56.4	31.8	△ 20.0
2022年	1~3月	9.2	53.8	37.0	△ 27.8
2022年	4~6月	11.3	55.9	32.8	△ 21.5
	前回調査比	2.1	2.1	△ 4.2	6.3
見通し	7~9月	9.0	64.2	26.8	△ 17.8
	今回調査比	△ 2.3	8.3	△ 6.0	3.7

#### 業種別収益状況(2022年4月~6月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		15.1	51.9	33.0	△ 17.9	△ 23.4	△ 19.8
卸売業		18.9	62.2	18.9	0.0	△ 27.0	△ 13.5
小売業		10.5	54.3	35.2	△ 24.7	△ 43.2	△ 20.0
サービス業		5.8	56.5	37.7	△ 31.9	△ 25.0	△ 26.1
建設業		7.9	61.8	30.3	△ 22.4	△ 22.1	△ 6.6
不動産業		12.9	51.6	35.5	△ 22.6	△ 12.9	△ 16.6
全体		11.3	55.9	32.8	△ 21.5	△ 27.8	△ 17.8



#### 4. 在庫・販売価格・資金繰り状況

##### ○在庫

在庫状況は、前回調査に比べ、「過剰」とする企業が変わらず、「不足」とする企業0.3 ㊦増加したことから、D I は0.3 ㊦減少の△4.3 となった。

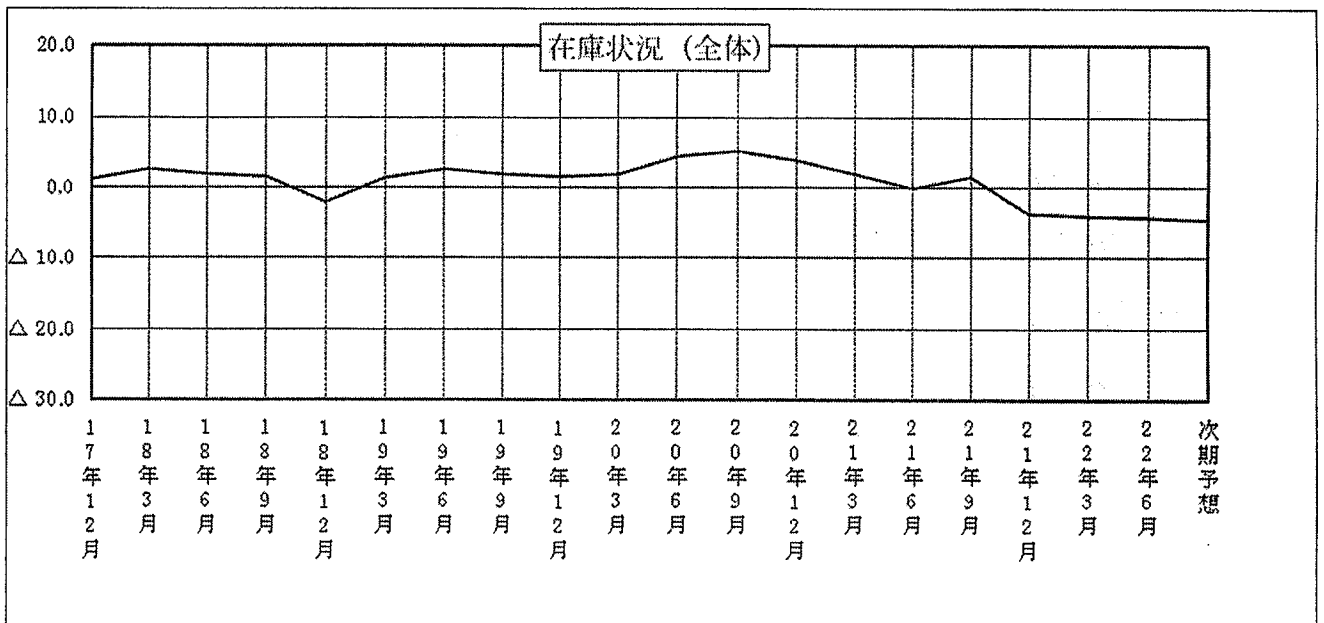
次回予想D I は、0.3 ㊦減少の△4.6 となる見通しである。

##### 在庫状況の推移

調査時点	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2021年	4~6月	7.7	84.6	7.7	0.0
2021年	7~9月	7.6	86.5	5.9	1.7
2021年	10~12月	6.2	84.0	9.8	△ 3.6
2022年	1~3月	7.0	82.0	11.0	△ 4.0
2022年	4~6月	7.0	81.7	11.3	△ 4.3
	前回調査比	0.0	△ 0.3	0.3	△ 0.3
見通し	7~9月	5.1	85.2	9.7	△ 4.6
	今回調査比	△ 1.9	3.5	△ 1.6	△ 0.3

##### 業種別在庫状況(2022年4月~6月)

業種	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		10.4	77.3	12.3	△ 1.9	1.8	△ 5.7
卸売業		5.4	83.8	10.8	△ 5.4	△ 5.5	△ 5.6
小売業		10.5	80.9	8.6	1.9	△ 4.8	3.8
建設業		1.3	88.2	10.5	△ 9.2	△ 7.8	△ 10.7
不動産業		0.0	80.6	19.4	△ 19.4	△ 9.7	△ 13.3
全体		7.0	81.7	11.3	△ 4.3	△ 4.0	△ 4.6



## ○販売価格

販売価格は、前回調査に比べ、「上昇した」とする企業が4.0ポイント増加し、「下降した」とする企業が0.7ポイント減少したことから、DIは4.7ポイント増加の12.5と改善した。

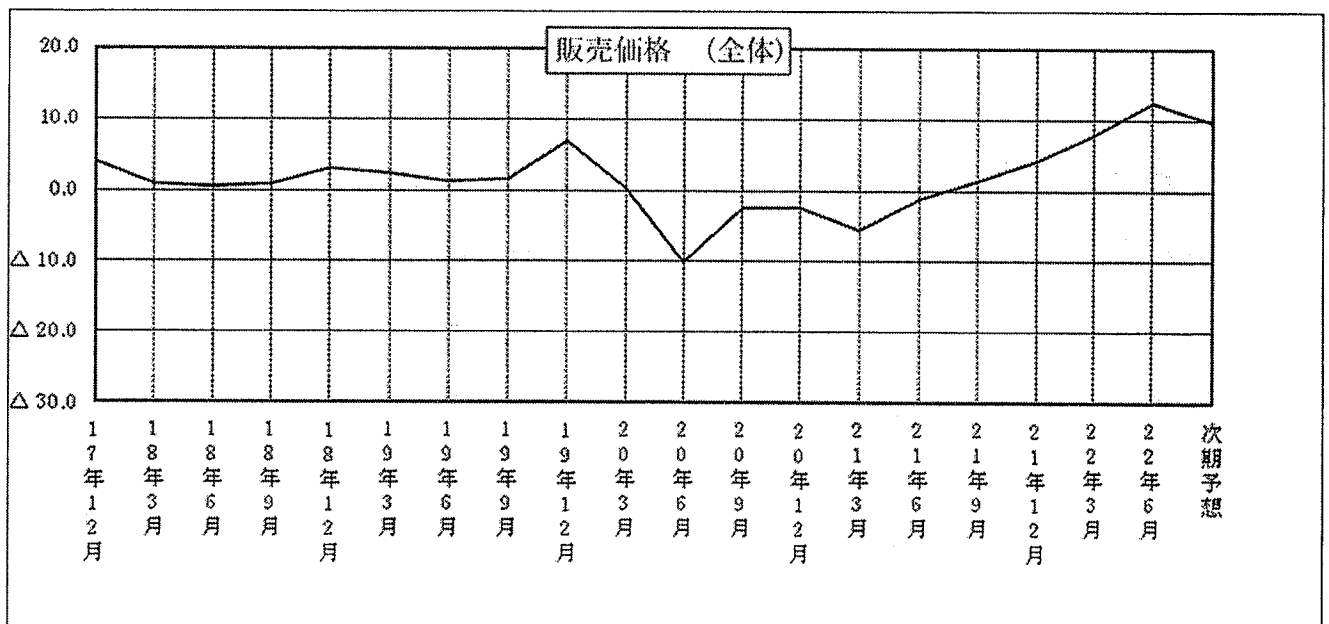
次回予想DIは、2.8ポイント減少の9.7と悪化する見通しである。

### 販売価格の推移

調査時点	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	DI (A-C)
2021年	4~6月	6.6	85.8	7.6	△1.0
2021年	7~9月	7.6	86.2	6.2	1.4
2021年	10~12月	10.8	82.6	6.6	4.2
2022年	1~3月	15.1	77.6	7.3	7.8
2022年	4~6月	19.1	74.3	6.6	12.5
	前回調査比	4.0	△3.3	△0.7	4.7
見通し	7~9月	16.6	76.5	6.9	9.7
	今回調査比	△2.5	2.2	0.3	△2.8

### 業種別販売価格状況(2022年4月~6月)

業種	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	DI (A-C)	前回調査 DI	次回予想 DI
製造業		25.5	70.7	3.8	21.7	15.0	12.3
卸売業		21.6	70.3	8.1	13.5	2.8	13.5
小売業		23.8	67.6	8.6	15.2	8.6	15.4
サービス業		13.0	81.2	5.8	7.2	13.2	5.8
建設業		9.2	85.5	5.3	3.9	1.3	4.0
不動産業		16.1	71.0	12.9	3.2	△9.7	0.0
全体		19.1	74.3	6.6	12.5	7.8	9.7



## ○資金繰り状況

資金繰り状況は、前回調査に比べ、「楽」とした企業が変わらず、「苦しい」とした企業が0.2 ㊦減少したことから、D Iは0.2 ㊦増加の△16.8と改善した。

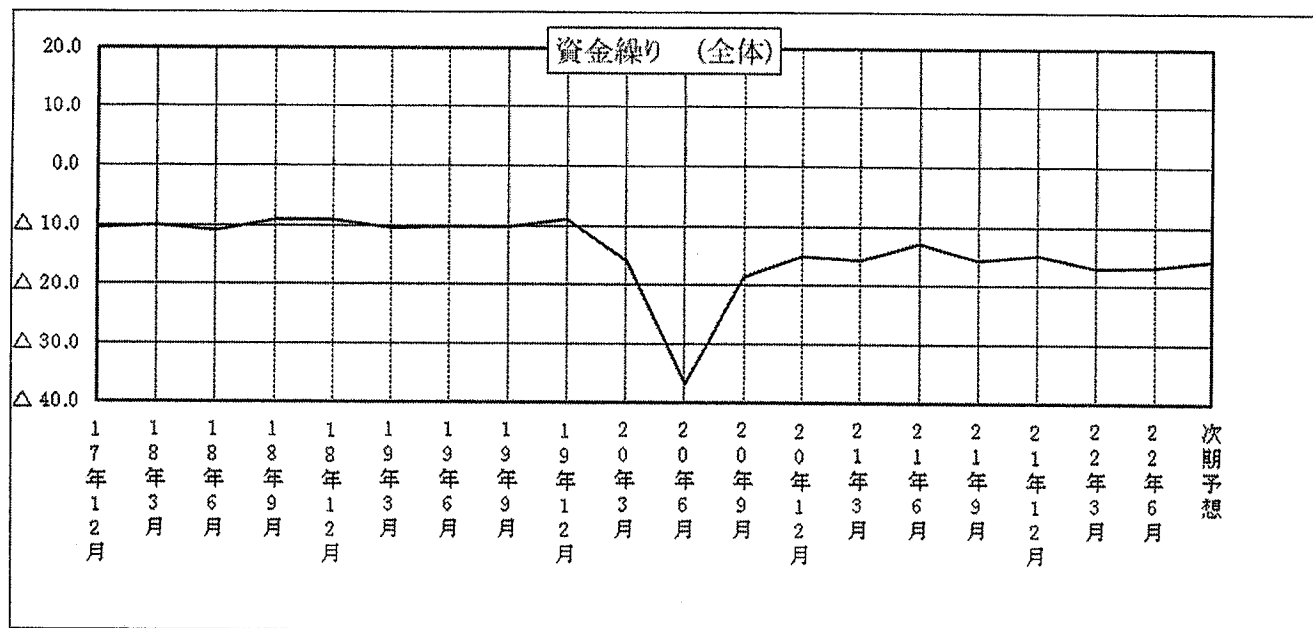
次回予想D Iは、1.1 ㊦増加の△15.7と改善する見通しである。

### 資金繰り状況の推移

調査時点	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)
2021年	4~6月	4.5	78.2	17.3	△ 12.8
2021年	7~9月	2.8	78.8	18.4	△ 15.6
2021年	10~12月	5.2	74.8	20.0	△ 14.8
2022年	1~3月	4.0	75.0	21.0	△ 17.0
2022年	4~6月	4.0	75.2	20.8	△ 16.8
	前回調査比	0.0	0.2	△ 0.2	0.2
見通し	7~9月	3.3	77.7	19.0	△ 15.7
	今回調査比	△ 0.7	2.5	△ 1.8	1.1

### 業種別資金繰り状況(2022年4月~6月)

業種	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		7.5	68.9	23.6	△ 16.1	△ 11.3	△ 14.1
卸売業		0.0	81.1	18.9	△ 18.9	△ 13.9	△ 13.9
小売業		3.8	73.1	23.1	△ 19.3	△ 29.8	△ 19.3
サービス業		1.4	75.4	23.2	△ 21.8	△ 22.0	△ 23.2
建設業		2.6	85.6	11.8	△ 9.2	△ 9.1	△ 8.0
不動産業		6.5	70.9	22.6	△ 16.1	△ 6.4	△ 13.4
全体		4.0	75.2	20.8	△ 16.8	△ 17.0	△ 15.7





## 5. 雇用面の動き

### ○残業時間

残業時間の状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が2.6ポイント減少し、「減少した」とする企業が1.9ポイント増加したことから、DIは4.5ポイント減少の△7.1となった。

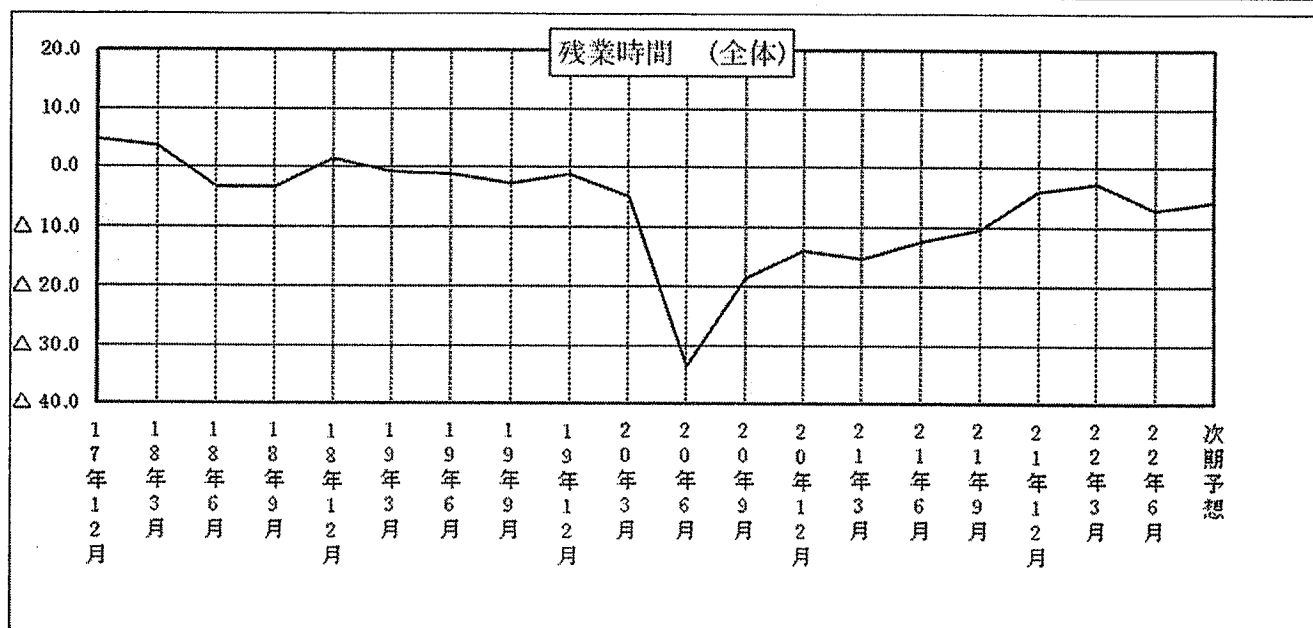
次回予想DIは、1.4ポイント増加の△5.7となる見通しである。

残業時間状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	DI (A-C)
2021年	4～6月	3.1	81.5	15.4	△12.3
2021年	7～9月	4.5	80.6	14.9	△10.4
2021年	10～12月	7.5	81.0	11.5	△4.0
2022年	1～3月	7.1	83.2	9.7	△2.6
2022年	4～6月	4.5	83.9	11.6	△7.1
	前回調査比	△2.6	0.7	1.9	△4.5
見通し	7～9月	3.5	87.3	9.2	△5.7
	今回調査比	△1.0	3.4	△2.4	1.4

業種別残業時間状況(2022年4月～6月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	DI (A-C)	前回調査 DI	次回予想 DI
製造業		2.8	77.4	19.8	△17.0	0.9	△18.0
卸売業		0.0	89.2	10.8	△10.8	△16.2	△8.1
小売業		4.8	87.6	7.6	△2.8	△6.7	△1.0
サービス業		5.8	78.3	15.9	△10.1	△3.0	△5.8
建設業		6.6	88.1	5.3	1.3	4.0	1.3
不動産業		6.5	90.3	3.2	3.3	0.0	6.5
全体		4.5	83.9	11.6	△7.1	△2.6	△5.7



## ○人 手

人手の状況は、前回調査と比べ、「過剰」とする企業は 1.9 ㊦減少し、「不足」とした企業が 2.9 ㊦増加したことから、D I は全体で 4.8 ㊦減少の△15.6 となった。

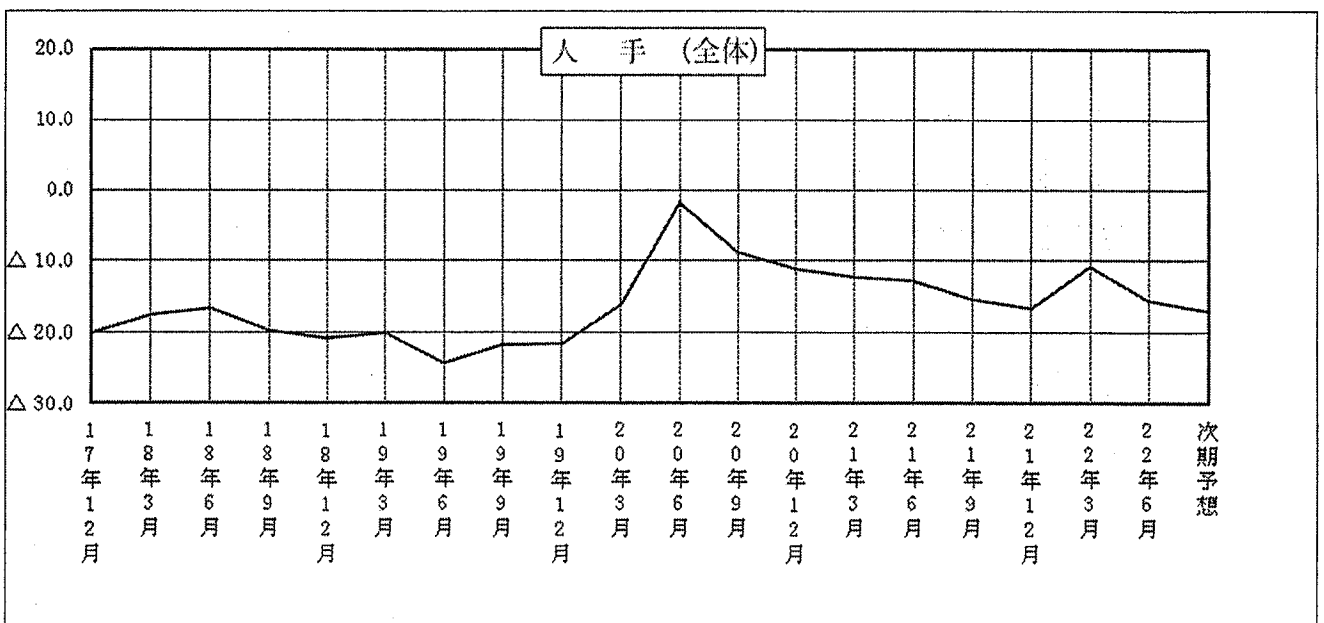
次回予想D I は、全体で 1.4 ㊦減少の△17.0 となる見通しである。

### 人 手 の 状 況 推 移

調査時点	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2021年	4～6月	4.0	79.2	16.8	△ 12.8
2021年	7～9月	3.3	78.0	18.7	△ 15.4
2021年	10～12月	1.4	80.5	18.1	△ 16.7
2022年	1～3月	3.8	81.6	14.6	△ 10.8
2022年	4～6月	1.9	80.6	17.5	△ 15.6
	前回調査比	△ 1.9	△ 1.0	2.9	△ 4.8
見通し	7～9月	1.7	79.6	18.7	△ 17.0
	今回調査比	△ 0.2	△ 1.0	1.2	△ 1.4

### 業種別人手状況(2022年4月～6月)

業 種	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		3.8	74.5	21.7	△ 17.9	△ 13.1	△ 20.7
卸 売 業		2.7	83.8	13.5	△ 10.8	5.4	△ 11.1
小 売 業		1.0	86.6	12.4	△ 11.4	△ 5.8	△ 11.4
サ ー ビ ス 業		1.4	76.9	21.7	△ 20.3	△ 17.6	△ 20.3
建 設 業		1.3	79.0	19.7	△ 18.4	△ 19.5	△ 22.4
不 動 産 業		0.0	90.3	9.7	△ 9.7	△ 3.2	△ 9.7
全 体		1.9	80.6	17.5	△ 15.6	△ 10.8	△ 17.0



## 6. 経営上の問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点では、殆どの業種で「売上の停滞・減少」と「同業者間の競争の激化」が1位、2位を占めたが、建設業で「材料価格の上昇」が1位、製造業で「原材料高」、小売業で「仕入れ先からの値上げ要請」、サービス業で「人手不足」が2位となった。

当面の重点経営施策では、殆どの業種で「経費を節減する」、「販路を広げる」が1位、2位を占めたが、不動産業で「宣伝・広告を強化する」が1位、小売業で「品揃えを改善する」が2位となった。

### 経営上の問題点

(複数回答 単位:%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	売上の停滞・減少	47.7	原材料高	36.4	人手不足	21.5	仕入れ先からの値上げ要請	17.8
卸売業	売上の停滞・減少	37.8	同業者間の競争の激化	35.1	仕入れ先からの値上げ要請	16.2	人手不足 利幅の縮小	13.5
小売業	売上の停滞・減少	34.3	仕入れ先からの値上げ要請	24.8	同業者間の競争の激化 商圏人口の減少	21.9		
サービス業	売上の停滞・減少	34.8	人手不足	26.1	利幅の縮小	18.8	同業者間の競争の激化	17.4
建設業	材料価格の上昇	40.8	同業者間の競争の激化	32.9	売上の停滞・減少	27.6	人手不足	25.0
不動産業	同業者間の競争の激化	41.9	売上の停滞・減少	25.8	利幅の縮小 商品物件の不足	22.6		

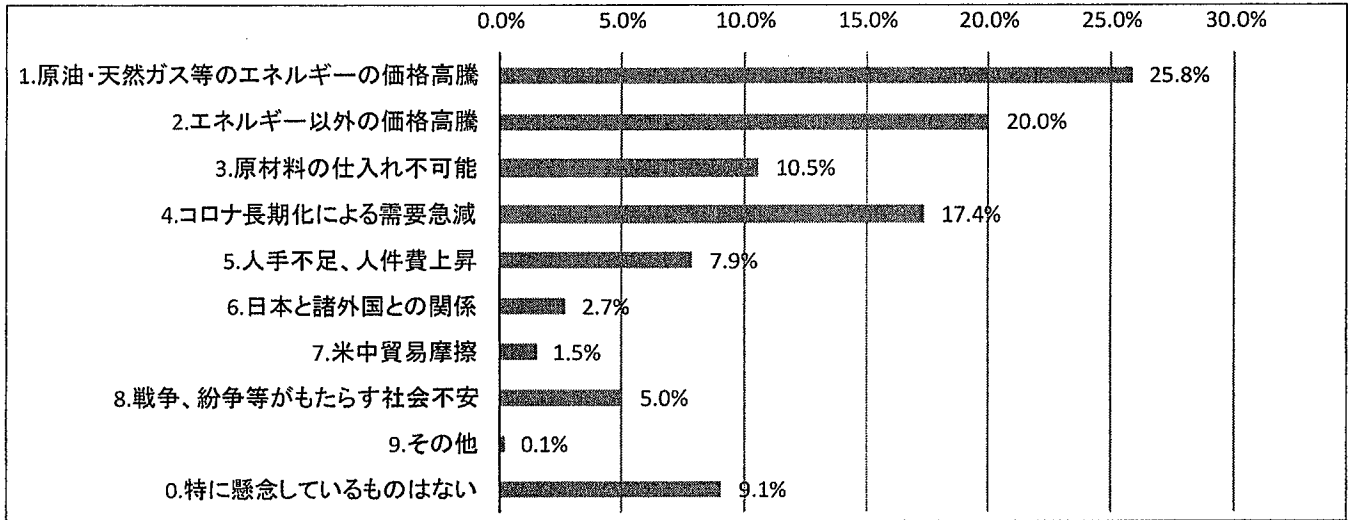
### 当面の重点経営施策

(複数回答 単位:%)

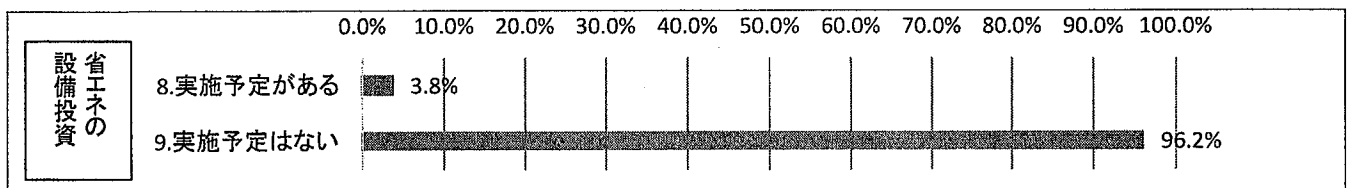
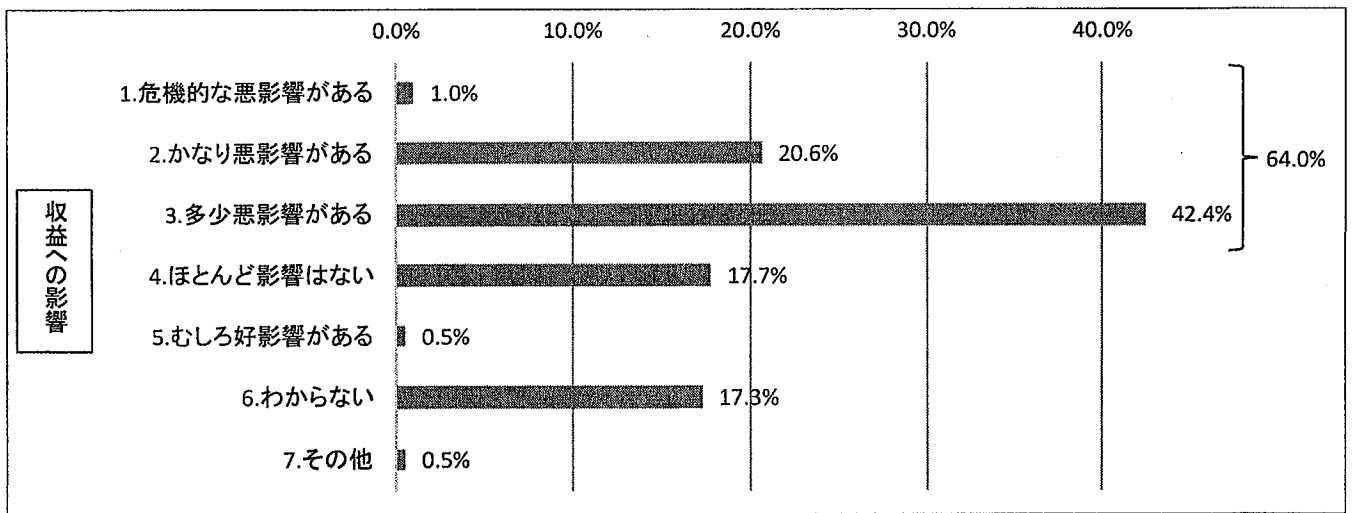
業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	経費を節減する	57.0	販路を広げる	46.7	人材を確保する	21.5	情報力を強化する	15.0
卸売業	販路を広げる	56.8	経費を節減する	32.4	情報力を強化する	27.0	品揃えを充実する 人材を確保する	16.2
小売業	経費を節減する	51.4	品揃えを改善する	33.3	宣伝・広告を強化する	26.7	売れ筋商品を取扱う	16.2
サービス業	経費を節減する	47.8	販路を広げる	39.1	人材を確保する	24.6	宣伝・広告を強化する	13.0
建設業	経費を節減する	36.8	販路を広げる	34.2	技術力を高める	32.9	人材を確保する	25.0
不動産業	宣伝・広告を強化する	64.5	販路を広げる	45.2	経費を節減する 情報力を強化する	35.5		

## 混迷する経済社会情勢と中小企業経営 —コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて—

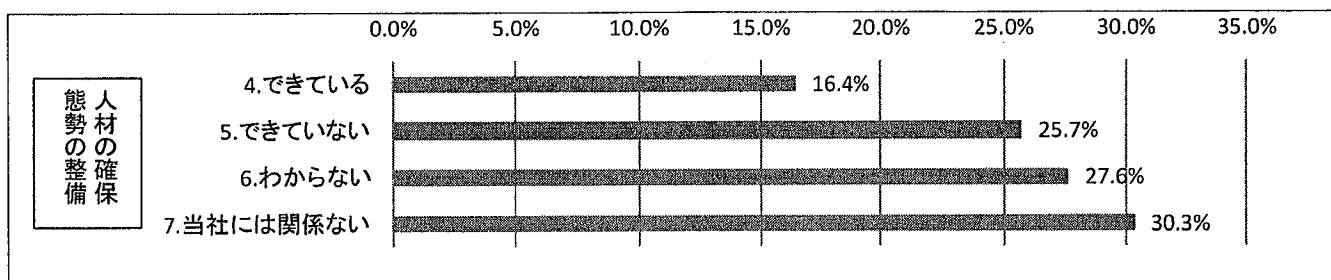
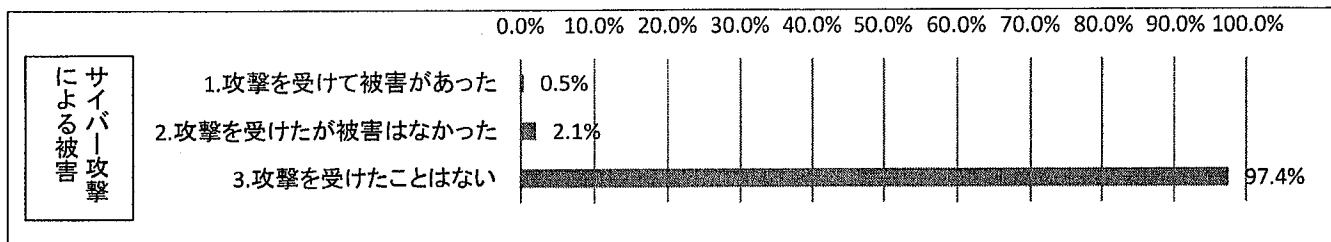
問1. 貴社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。下記の1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。



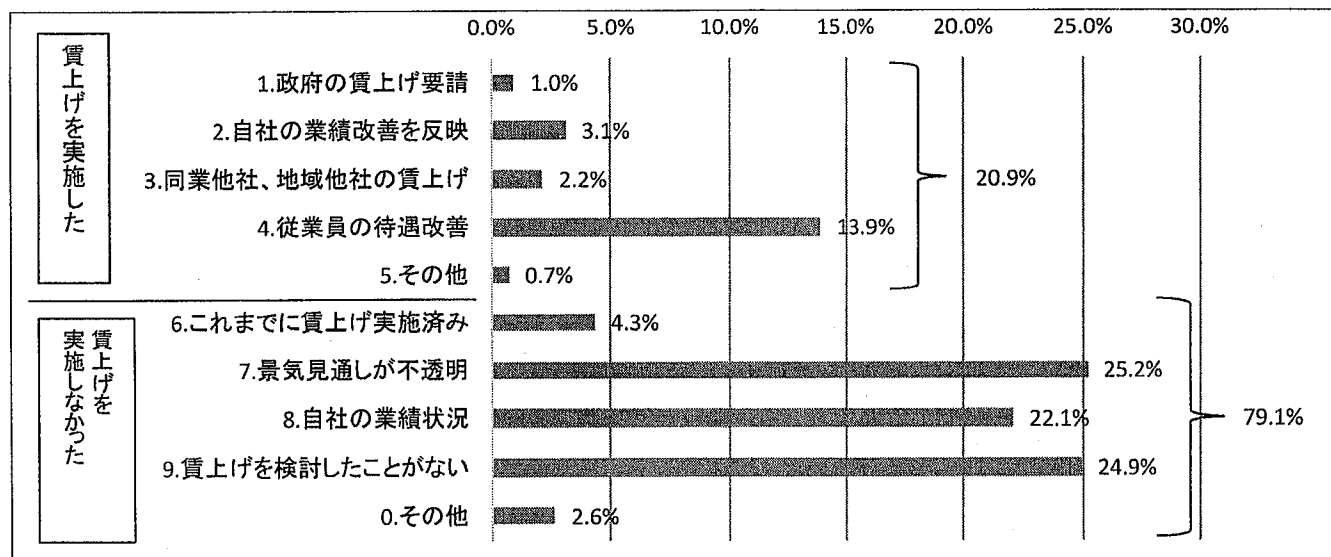
問2. 貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1～7の中から1つ選んでお答えください。また、今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか。下記の8～9の中から1つまで選んでお答えください。



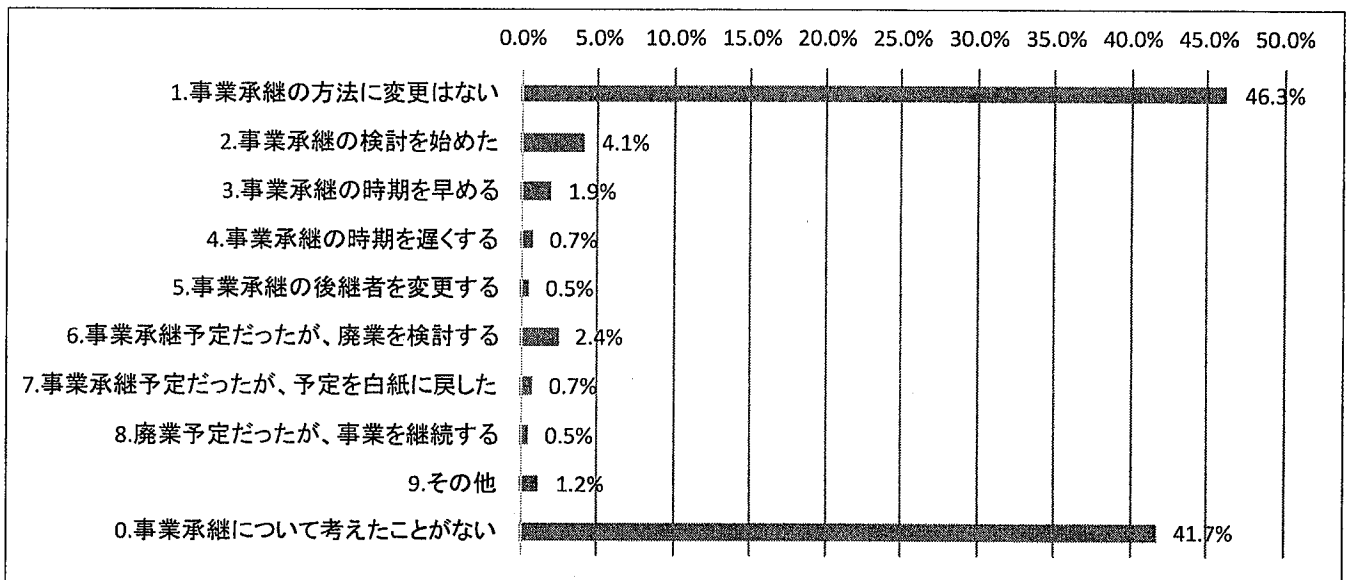
問3. 企業や団体などを標的としたサイバー攻撃による被害が数多く報告されています。貴社では、サイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。下記の1～3の中から1つ選んでお答えください。また、サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか。下記の4～7の中から1つ選んでお答えください。



問4. 経済社会情勢の混迷のなかで政府から賃上げが要請されていますが、貴社では、今春、賃上げを実施しましたか。実施した場合は、その理由について、最もあてはまるものを次の1～5の中から、賃上げを実施しなかった場合は、その理由について最もあてはまるものを次の6～0の中から1つ選んでお答えください。



問5. 貴社では、コロナ禍を受けて、事業承継（M&Aを含む。）についての考え方に変化はありましたか。次の1～0の中から1つ選んでお答えください。



### 「混迷する経済社会情勢と中小企業経営」のまとめ

（景気動向調査の有効回答先から調査したものです）

- 最近の経済社会情勢について特に懸念していることについては、「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」が25.8%と最も多く、続いて「エネルギー以外の価格高騰」が20.0%、「コロナ長期化による需要急減」が17.4%であった。
- 最近のエネルギー価格の上昇による収益への影響については、「危機的な悪影響がある」が1.0%、「かなり悪影響がある」が20.6%、「多少悪影響がある」が42.4%と、合計で64.0%の事業者が何らかの悪影響があると回答した。  
省エネ設備の実施予定については、「実施予定がある」は3.8%にとどまり、「実施予定はない」が96.2%であった。
- サイバー攻撃については、「攻撃を受けて被害があった」が0.5%、「攻撃を受けたが被害はなかった」が2.1%と、合計2.6%の事業者がサイバー攻撃を受けたことがあると回答した。  
サイバーセキュリティ確保のための人材確保・態勢の整備については、「できている」は16.4%にとどまった。
- 今春の賃上げについては、20.9%が実施した、79.1%が実施しなかったと回答した。  
賃上げを実施した事業者の理由は「従業員の待遇改善」が13.9%と最も多かった。賃上げを実施しなかった事業者の理由は「景気見通しが不透明」が25.2%と最も多く、続いて「賃上げを検討した事がない」が24.9%、「自社の業績状況」が22.1%であった。
- コロナ禍を受けての事業承継についての考え方は、「事業承継の方法に変更はない」が46.3%と最も多く、続いて「事業承継について考えたことがない」が41.7%であった。